

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第3区分  
【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2004-145832(P2004-145832A)  
【公開日】平成16年5月20日(2004.5.20)  
【年通号数】公開・登録公報2004-019  
【出願番号】特願2002-326897(P2002-326897)  
【国際特許分類第7版】

G 0 6 T 17/40

【F I】

G 0 6 T 17/40 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月6日(2005.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】コンテンツ作成装置、コンテンツ編集装置、コンテンツ作成方法、コンテンツ編集方法、コンテンツ作成プログラム、コンテンツ編集プログラム、携帯通信端末、コンテンツ作成プログラムを記録する記録媒体、およびコンテンツ編集プログラムを記録する記録媒体

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の図形データに対して個別に奥行き情報を設定する奥行き情報設定手段と、前記奥行き情報が設定された図形データを出力する出力手段とを備える、コンテンツ作成装置。

【請求項2】

図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集装置であって、

表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力手段と、

前記受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示手段とを備える、コンテンツ編集装置。

【請求項3】

図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集装置であって、

表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力手段と、

前記受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示手段と、

前記表示した図形データの奥行き情報を変更する奥行き情報変更手とを備える、コンテンツ編集装置。

【請求項4】

図形データに対して、基準面である所定の平面からの、相対的な奥行き関係を示す奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集装置であって、

前記基準面に対して奥行き情報を設定する基準面奥行き情報設定手段と、  
図形データに設定された奥行き情報を、前記基準面に対して設定された奥行き情報に応じて編集する深さ編集手段とを備える、コンテンツ編集装置。

【請求項 5】

複数の図形データに対して個別に奥行き情報を設定する奥行き情報設定ステップと、  
前記奥行き情報が設定された図形データを出力する出力ステップとを備える、コンテンツ作成方法。

【請求項 6】

前記設定された奥行き情報を、対応する深さを表わす深さ情報に変換する変換ステップをさらに備え、

前記出力ステップは、前記変換された深さ情報が付加された図形データを出力する、請求項 5 に記載のコンテンツ作成方法。

【請求項 7】

前記奥行き情報を段階的な奥行き情報として、選択可能な状態で表示する奥行き情報設定表示ステップと、

前記表示に基づいて、前記図形データに対して設定する奥行き情報の入力を受付ける奥行き情報入力ステップとをさらに備え、

前記奥行き情報設定ステップは、前記受付けた奥行き情報を前記図形データに対して設定する、請求項 5 に記載のコンテンツ作成方法。

【請求項 8】

前記図形データを選択する図形データ選択ステップをさらに備え、

前記奥行き情報設定ステップは、前記選択された図形データに対して前記奥行き情報を設定する、請求項 5 または 6 に記載のコンテンツ作成方法。

【請求項 9】

図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法であって、

表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、

前記受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップとを備える、コンテンツ編集方法。

【請求項 10】

図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法であって、

表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、

前記受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップと、

前記表示した図形データの奥行き情報を変更する奥行き情報変更ステップとを備える、コンテンツ編集方法。

【請求項 11】

前記表示情報入力ステップは、前記奥行き情報の、表示させたい奥行きの範囲の入力を受付け、

前記表示ステップは、前記受付けた奥行きの範囲に該当する奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する、請求項 10 に記載のコンテンツ編集方法。

【請求項 12】

前記表示ステップは、前記図形データを、編集可能な状態で表示する、請求項 10 または 11 に記載のコンテンツ編集方法。

【請求項 13】

図形データに対して、基準面である所定の平面からの、相対的な奥行き関係を示す奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法であって、

前記基準面に対して奥行き情報を設定する基準面奥行き情報設定ステップと、

図形データに設定された奥行き情報を、前記基準面に対して設定された奥行き情報に応じて編集する深さ編集ステップとを備える、コンテンツ編集方法。

## 【請求項 1 4】

前記深さ編集ステップは、前記基準面から前記図形データまでの相対的な奥行き関係を保持しつつ、前記基準面に対して設定された奥行き情報に基づいて、前記図形データに設定された奥行き情報を変更する、請求項 1 3 に記載のコンテンツ編集方法。

## 【請求項 1 5】

前記図形データを選択する図形データ選択ステップをさらに備え、

前記深さ編集ステップは、前記選択された図形データに設定された奥行き情報を編集する、請求項 1 2 または 1 3 に記載のコンテンツ編集方法。

## 【請求項 1 6】

図形データに対して奥行き情報を設定する奥行き情報設定ステップと、

前記奥行き情報が設定された図形データを出力する出力ステップとをコンピュータに実行させる、コンテンツ作成プログラム。

## 【請求項 1 7】

図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、

表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、

前記受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップとを実行させる、コンテンツ編集プログラム。

## 【請求項 1 8】

図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、

表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、

前記受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップと、

前記表示した図形データの奥行き情報を変更する奥行き情報変更ステップとを実行させる、コンテンツ編集プログラム。

## 【請求項 1 9】

請求項 1 6 に記載のコンテンツ作成プログラムを実行する、携帯通信端末。

## 【請求項 2 0】

請求項 1 7 または 1 8 に記載のコンテンツ編集プログラムを実行する、携帯通信端末。

## 【請求項 2 1】

請求項 1 6 に記載のコンテンツ作成プログラムを記録する、コンピュータ読取可能な記録媒体。

## 【請求項 2 2】

請求項 1 7 または 1 8 に記載のコンテンツ編集プログラムを記録する、コンピュータ読取可能な記録媒体。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明はコンテンツ作成装置、コンテンツ編集装置、コンテンツ作成方法、コンテンツ編集方法、コンテンツ作成プログラム、コンテンツ編集プログラム、携帯通信端末、コンテンツ作成プログラムを記録する記録媒体、およびコンテンツ編集プログラムを記録する記録媒体に関し、特に、立体視可能なコンテンツ作成および編集を容易に行なうことのできるコンテンツ作成装置、コンテンツ編集装置、コンテンツ作成方法、コンテンツ編集方法、コンテンツ作成プログラム、コンテンツ編集プログラム、携帯通信端末、コンテンツ作成プログラムを記録する記録媒体、およびコンテンツ編集プログラムを記録する記録媒体に関する。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題に鑑みてなされたものであって、容易に立体視可能なコンテンツの作成および編集を行なうことのできるコンテンツ作成装置、コンテンツ編集装置、コンテンツ作成方法、コンテンツ編集方法、コンテンツ作成プログラム、コンテンツ編集プログラム、携帯通信端末、コンテンツ作成プログラムを記録する記録媒体、およびコンテンツ編集プログラムを記録する記録媒体を提供することを目的とする。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

## 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明のある局面に従うと、コンテンツ作成装置は、複数の図形データに対して個別に奥行き情報を設定する奥行き情報設定手段と、奥行き情報が設定された図形データを出力する出力手段とを備える。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の他の局面に従うと、コンテンツ編集装置は、図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集装置であって、表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力手段と、受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示手段とを備える。

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ編集装置は、図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集装置であって、表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力手段と、受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示手段と、表示した図形データの奥行き情報を変更する奥行き情報変更手段とを備える。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ編集装置は、図形データに対して、基準面である所定の平面からの、相対的な奥行き関係を示す奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集装置であって、基準面に対して奥行き情報を設定する基準面奥行き情報設定手段と、図形データに設定された奥行き情報を、基準面に対して設定された奥行き情報に応じて編集する深さ編集手段とを備える。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ作成方法は、複数の図形データに対して個別に奥行き情報を設定する奥行き情報設定ステップと、奥行き情報が設定された図形データを出力する出力ステップとを備える。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の他の局面に従うと、コンテンツ編集方法は、図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法であって、表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップとを備える。

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ編集方法は、図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法であって、表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップと、表示した図形データの奥行き情報を変更する奥行き情報変更ステップとを備える。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ編集方法は、図形データに対して、基準面である所定の平面からの、相対的な奥行き関係を示す奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法であって、基準面に対して奥行き情報を設定する基準面奥行き情報設定ステップと、図形データに設定された奥行き情報を、基準面に対して設定された奥行き情報に応じて編集する深さ編集ステップとを備える。

## 【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ作成プログラムは、図形データに対して奥行き情報を設定する奥行き情報設定ステップと、奥行き情報が設定された図形データを出力する出力ステップとをコンピュータに実行させる。

## 【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ編集プログラムは、図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップとを実行させる。

本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ編集プログラムは、図形データに対して奥行き情報が設定されたコンテンツを編集するコンテンツ編集方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、表示させたい奥行きに対する奥行き情報の入力を受付ける表示情報入力ステップと、受付けた奥行き情報が設定されている図形データのみを表示する表示ステップと、表示した図形データの奥行き情報を変更する奥行き情報変更ステップとを実行させる。

## 【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

本発明のさらに他の局面に従うと、携帯通信端末は、上記コンテンツ作成プログラムを実行する。

## 【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

本発明のさらに他の局面に従うと、携帯通信端末は、上記コンテンツ編集プログラムを実行する。

## 【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

本発明のさらに他の局面に従うと、記録媒体はコンピュータ読取可能な記録媒体であって、上記コンテンツ作成プログラムを記録する。

本発明のさらに他の局面に従うと、記録媒体はコンピュータ読取可能な記録媒体であって、上記コンテンツ編集プログラムを記録する。